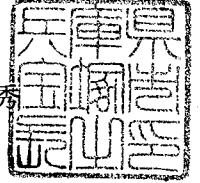


平成 20 年 10 月 20 日

宝道政 第 34 号

国土交通省道路局長 様

宝塚市長 阪上 善秀



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付、国道企第 37 号にて依頼のありました標記の件について、
別紙のとおり回答します。

担当課： 宝塚市 建設部 道路整備室 道路政策課

電話 0797-77-2097 FAX 0797-77-2102

E メール doseisak@city.takarazuka.lg.jp

今後の道路行政についての意見・提案

様式①
兵庫県宝塚市

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○地方の特性、独自性を反映した道路施策が展開できるよう地方財政の拡充を求めます。

○より効果的、効率的かつ透明性の高い道路行政へと転換を図るため、道路行政に係る成果主義を更に充実する必要があると考えます。また、併せて、補助事業につきましても地方の厳しい財政状況を踏まえ、地方にとって使いやすく、より手厚い制度となるよう改善を求めます。

○経済の低成長が想定されるなか、今後、社会資本の既存ストックをより有効に活用するという視点が重要となります。そのためにも、老朽化したストックの修繕、更新等に係る地方への財政的な支援、配慮を求めます。

○高速道路は活力ある地域社会の構築、安全で安心できる暮らしの確保など豊かな国民生活の実現に寄与するとともに災害時における緊急輸送、救急医療に備える上で欠くことのできない重要な社会基盤施設であるため、慢性的な交通渋滞の発生箇所等、ネットワーク上に課題の有する区間の早期整備を求めます。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

兵庫県宝塚市

○現状 ・中国縦貫自動車道の慢性的な渋滞により、周辺道路にも影響が生じている。 ・本市の都市計画道路整備率は6割と低く、量、質とも不十分である。 ・南部市街地では、鉄道と平面交差する道路が多く、また、市内の地域間を連絡する道路も十分といえず、一部において救急活動や消防活動に支障をきたす恐れがある。 ・歩道の設置や段差解消等により、安全で安心できる市民生活が求められている。 ・鉄道、バス利用等を高めるため、交通結節点機能の向上が求められる。 ・高度成長期に建設した橋梁等、道路施設の老朽化が進んでおり、早期の対応が求められる。	○課題 左記の現状に対処するため、以下の施策に取り組む必要がある。 ・新名神高速道路の整備促進など、広域幹線道路網の充実や都市計画道路などの効果的な整備を進める。 ・一般市道の整備については、安全で快適な市民生活を確保するため、歩道の設置や狭あい箇所の解消など安全対策を中心として、改良効果の高い箇所の整備を重点的に推進する。 ・鉄道との平面交差部については、踏切改良等を検討する。 ・安全で快適な歩行者空間を確保するため、道路のバリアフリー化を計画的に進める。 ・駅前広場等の整備とともに移動の円滑化を図るべくバリアフリー化事業を進める。 ・橋梁等道路施設の検査や修繕、更新等を行う。 ・上記施策実施にあたっての課題 ・地方への財源委譲 ・補助金等の枠の拡大、採択基準の緩和、補助率のアップ等、国等の財政的支援 ・踏切改良にあたっての鉄道事業者の協力
--	---

目指すべき将来像

- 阪神・淡路大震災で得た教訓と経験を生かし、災害に強く安全で快適なまちを創造する。
- ユニバーサルデザインの考え方に立ち、すべてのの市民が安全で快適に生活できるまちづくりを目
- 市民生活の安全性や利便性の向上のため、交通体系の確立と道路等インフラ整備を行う。

将来像を実現すべき施策の方針

- ・市内の主要な輸送機関となっている鉄道やバスは、公共交通としての利便性を向上させるため、駅前広場整備等、交通結節点機能の向上を図る。また、高齢者や障害のある人を含む、すべての人にやさしい駅施設などとなるよう、バリアフリー化を進める。
- ・都市間交通や通過交通等に対応する主要な道路や主として市内での交通の円滑化を図るための道路等を計画的かつ効率的に整備を進める。
- ・災害時の緊急輸送に資する新名神高速道路等、広域幹線道路について、早期整備に向け取り組む。
- ・すべての人にやさしい歩道の整備等、安全で快適な道路環境づくりを計画的に進めるとともに道路の適正な維持修繕に努める。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路政策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

兵庫県宝塚市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・交通結節点機能の向上	・JR宝塚駅周辺整備事業	・JR宝塚駅舎の橋上化整備と一体となった駅前広場機能の拡充やバリアフリー化整備により、駅前広場における円滑な交通処理と、JRと阪急電鉄間の乗り換えの利便性、安全性の向上等を図る。	
・都市計画道路の計画的な事業推進	・都市計画道路荒地西山線整備事業	・道路ネットワークの形成(東西交通の連絡強化)、交通渋滞の緩和(阪急逆瀬川駅、小林駅周辺の交通混雑の解消)、都市防災機能の向上(緊急輸送路、避難路)、地域の活性化(住宅地の利便性向上、良好な居住環境の改善、阪急電鉄で分断されている地域の機能強化)等を図る。	
・維持、管理、修繕事業	・橋梁等、老朽施設の点検、修繕更新事業	・老朽化したストックの急増に対応するとともにストック活用により低成長期における市民生活の質の向上を図る。	
・市内北部地域でのインターチェンジの誘致	・新名神高速道路における市内北部地域でのスマートインターチェンジの誘致	・北部地域へのアクセス強化、地域活性	
・生活道路の整備	宝塚市生活道路整備条例による狭隘道路の整備	・良好な市街地の形成	